

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 政治への関心を高めるために（30分）</p> <p>10月22日投開票の衆議院議員総選挙、鶴ヶ島市は市長選挙と市議会議員補欠選挙が同日となりました。新党の立ち上げ等、関心の集まった総選挙の影響か、市議会議員の補欠選挙の投票率は平成27年の一般選挙の時よりも10ポイントも高くなっています。</p> <p>政治は市民の生活に関わることを決める場であり、選挙は自分の意見を託す、有権者全員が平等に持つ権利です。しかし、残念なことに二人に一人は棄権しているのが現状です。</p> <p>もっと多くの人に、政治を自分の事として捉えていただきたいのは、関わる者として当然の思いです。</p> <p>今回の総選挙では、東京の池袋駅に直結するデパートに期日前投票所（共通投票所）が開設し、買い物や通勤の前後に合わせて立ち寄る有権者も多く、期日前投票の投票率はかなり高くなりました。</p> <p>鶴ヶ島市庁舎の期日前投票所もかなりの混雑だったと聞いています。</p> <p>また2016年、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてから常に話題となるのが20代の投票率です。デンマークは、若者の投票率が80%近くあり、政治意識が高いと言われていますが、その背景には、家族や友人と社会の問題や政治について議論しているという日常があります。</p> <p>これまで議場でも、より早い時期から主権者教育に取り組む必要がある点について議論がありました。</p> <p>以上のことから、政治への関心を高めるためにできることについて伺います。</p> <p>(1) 投票しやすい環境の整備について</p> <p>ア 期日前投票所2か所の効果は。</p> <p>イ 利便性の高い共通投票所増設の可能性は。</p> <p>ウ インターネット等での投票の可能性は。</p> <p>(2) 早い時期からの政治意識の向上の取組について</p> <p>ア 子どもたちと保護者が話すきっかけづくりは。</p> <p>イ 毎年子ども議会の開催は。</p> <p>ウ 埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校への期日前投票所の設置は。</p> <p>(3) 地域への関心の向上について</p> <p>(4) 議会と共に取り組めることは。</p>	<p>市長 教育委員会教育長 選挙管理委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2 地域の子育て支援機能の充実を（30分）</p> <p>平成に入ってしばらくしてから出生数が減りはじめ、この数年は、近所に同じくらいの年齢の子どもがいないという状況にもなっています。</p> <p>子育て中の孤立化を防ぎ、地域で子育てを支えることを目的として、子育て支援拠点事業は始まりました。</p> <p>鶴ヶ島市では、子育てセンターとつどいの広場の計5か所、こそだてひろば、そして各児童館で、子育て中のパパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃんに向けて多彩な事業を展開しています。</p> <p>埼玉県のホームページから地域子育て支援拠点を探すと、現在555件の一覧を見ることができます。若い世代がどこのまちに住もうかと考えた時の選択肢の一つになっていると思います。</p> <p>待機児童がないことと広場事業が充実しているのが鶴ヶ島市の子育て支援の特徴であるということから、9月議会で保育の質について質問させていただきました。</p> <p>今回は、家庭で子育てをしている市民への支援について伺います。</p> <p>子育て世代の生活環境も様変わりしています。育児で不安なことも、まずはスマートフォンで検索するパパ、ママたちに求められる子育て支援について、市の考えを伺います。</p> <p>(1) 市内子育て支援拠点の利用状況について</p> <p>ア 各拠点の利用人数の推移と傾向は。</p> <p>イ 利用者の年齢層や居住地域の動向は。</p> <p>ウ アとイから見えてくることは。</p> <p>(2) 子育て支援拠点事業の課題について</p> <p>ア 利用者が求めていることは。</p> <p>イ スタッフが感じている課題は。</p> <p>ウ アとイから考えられる課題と改善点は。</p> <p>(3) 支援体制のネットワーク化について</p> <p>(4) ネウボラとの連携について</p>	市長